

事業名

大將軍商店街の賑わいの創出

実施団体

大將軍商店街 振興組合

目的

上京区の西の方、西大路通から中立売通までおよそ400mの長さに渡って商店が並ぶ大將軍商店街は、市内北西部の商業地として発展してきました。現在は、全国の他の商店街でも見られるように、平日の人通りが少なく、空き店舗が目立ちつつあります。商店街、商店街周辺の資源を生かし、賑わいを創出する取り組みを進めました。

大將軍商店街とは 場所



現在の取り組み

中の最北部、一条通を付喪神と呼ばれる妖怪たちが行進したと言われる伝説に基づいて、「妖怪」をテーマに商店街の活性化を図っています。

現在の商店街の課題

- 「百鬼夜行」や「モノケ市」などのイベント時には遠方からも大勢お客さんが来るが、一時的。



「百鬼夜行」の様子

「モノケ市」の様子

- 商店主が高齢化し、イベント等の手伝いが負担に。
 - インターネットや大規模スーパーでの買い物する人が増えた。
- 受け入れ体制や継続的な誘客の仕組みづくりが課題!!

取り組みの手がかり探し

上京MOW(平成29年9月4日)で発表



- 広い視点での資源探し
- ・大將軍にある大將軍八神社は陰陽道の聖地
- ・北野天満宮には観光客が多い!
- ・商店街に入っていない近隣商店 (パンダンゴや、カレー屋さん)
- ・地域通貨の活用 などなど

平成29年度の取り組み

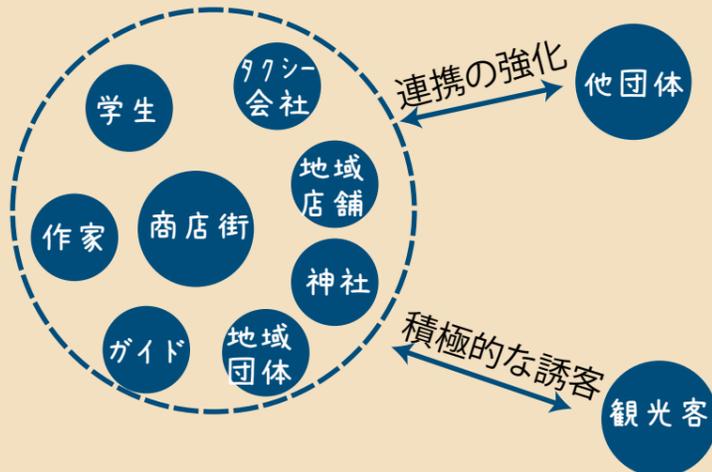
① 受け入れ基盤の整備

② 体験プログラムの開発

受け入れ基盤の整備

商店街と、商店街の外部の人を交えた組織体制の整備

(月1回定例の会議を実施中)



同志社大学の学生他が、地域の祭りに参加



体験プログラムの開発

修学旅行生や外国人観光客を対象とした体験プログラムのモニターワークショップの開催

「狐のお面作り」ワークショップ

第1回 12月5日(火曜日)

第2回 2月27日(火曜日) 開催



「妖怪和菓子作り」ワークショップ

1月30日(火曜日) 開催



平成30年度の
京都散策乗物ガイドブック本に
掲載!!



もう一回ブラッシュアップが必要
平成30年度へ

平成30年度の取り組み(予定)

① 体験プログラムの開発

「妖怪和菓子作り」
「組紐体験」などなど

② 空き店舗と作り手のマッチング

イベント時の一時利用
店舗の一部間借りなど